

Interview
参加者の声



日頃、接することがない「飛行機」を身近に感じてもらうために、学校生活でも共通している「チームワーク」の大切さを伝えました。

日本航空(株) 機長
緒方 秀俊さん



飛行機に興味を持ってほしいと、仕事内容をスケッチに描き、説明しました。福智の子どもの真剣なまなざしが、うれしかったです。

日本航空(株) 客室乗務員
江口 直子さん



もともと電車も飛行機も大好きでしたが、今回のイベントでたくさん勉強してもっと好きになりました。参加して本当によかったです。

市場小4年生
平川 正人くん



ルートマップを見ながらの飛行やコックピットでの作業など、パイロットにはたくさんの知識が必要だと分かりました。

伊方小6年生
太田 航大朗くん



へいちく職員による鉄道教室で、
「地域の足」に親しむ子どもたち。



ITA

KANADA

共同企画の最後はクイズ大会。14問中13問正解、最高得点を獲得した3人が豪華景品をゲット。降車後は全員ご満悦の記念写真でフィナーレを飾りました。



のり電の教室

日本航空と平成筑豊鉄道、福智町のタイアップ企画として初めて実現したこのイベント。子どもたちの大空への夢が、列車の中でさらに近づいていく様子をお楽しみください。



NOGATA

貴重なJALの仕事現場の解説を受け、親子で目を輝かせながら、メモをとる姿が多く見られました。



KANADA

日本航空北九州支店の武知支店長が「地域の方から世界一愛される企業を目指して企画しました。ぜひ親子で楽しい思い出を刻んでほしい」とあいさつし、初めての共同企画で特別列車が出航。



線路の上で「空」を身近に

澄んだ青空が広がった4月29日、日本航空(JAL)と観光振興を目指す福智町が、初めてタッグを組んで共同企画したイベント「のりもの教室inふくち」が開催されました。この企画に、同じ「のりもの」つながりで、本社が福智町にある平成筑豊鉄道が、ヘッドマークにJALのシンボルマークを掲げた特別列車を運行。その車内でパイロットやキャビンアテンダントによる航空教室が行われ、町内の小学生と保護者40組80人が参加しました。

教室では、現役パイロットの緒方秀俊機長が、機内で行うアナウンスを鉄道風にアレンジして「車窓からの眺めを楽しみながら、耳を傾けてください」と

現役のパイロットとキャビンアテンダントが講師を務め、旅客機の操縦や接客業務などを丁寧に紹介。

